



令和2年度 12月の園だより



しょうどうえ 成道会

12月8日(火)

インドのシッダルタ王子(後のお釈迦様)が長い修行の末、お悟りを開かれた日が12月8日です。この日は、成道会の式を行い、「良い子になりますように」とみ仏様に手を合わせます。健やかに、そして、『感謝と思いやり』の心を持ち、『何事にもやる気のある子ども』に育ってくれることを念じています。

幼児組さんはホールにて、仏様に手を合わせます。詳しくは“きっずノート”にて配信いたしますので確認をお願いします。なお、感染症対策として二部制にする予定です。



12月17日(木)

昔は、どこの家でも年末に餅をつく杵の音がひびきわたっていました。今では、臼、杵、釜、蒸籠といった道具も家庭で少なくなっており、機械でついたり、店で買ってきたりしているようです。

もちは「望」に通じ、物事が満ち足りたことをあらわします。正月に餅を供えて家族みんなが満身に、希望がかなえられるようにと願うのが習わしでした。(感染症対策や準備物など後日配信予定です)

大晦日

12月31日

「みそか」とは30日のことで、一年の最後の日を「おおみそか」と言います。大晦日の夜、除夜の鐘が108回鳴ります。これは、人間の煩惱が108つあるという仏教の教えからきたもので、それを取り去って新年を迎えるわけです。107回を年内に、最後の一つを新年につきます。

年末は12月30日(水)よりお休みです。



消さないで あなたの心の 注意の火

広島市南消防署 警防課救助係

「保護者のみなさまとともに喜び、子どもの育ち」

早いもので、今年も残すところ1か月となり、新しい年を迎えようとしています。今年、全国的に新型コロナウイルスが流行し、新しい生活様式にもなり、いつもとは違う日常ではありますが、子どもたちの手洗い・うがい・その他の感染予防も、生活の一部になっているようで、4.5歳児にもなると保育者が伝えなくても自分でしようとする姿もたくさん見られます。保護者のみなさまにも園生活や行事などで、「お願い」が増えておりますが、いつも心よくご理解いただき、感謝申し上げます。

先日の、0歳児保育参加や1.2歳児親子参観、そして、3歳児あか組さんの“おたのしみ会～ミニ発表会～”では、ソーシャルディスタンスをはじめ、休日でのご家族での過ごし方など多岐に渡り、感染予防や対策に努めていただいたおかげで、無事に開催することができました。コロナ禍ではありますが、子どもたちの成長を感じ、喜んでいただけたのではないかと考えております。

11月21日に開催した“おたのしみ会～ミニ発表会～”は、大好きな保護者の方に見守られる中、毎日、一緒に過ごしている友だちや保育者と大きなステージの上で動物になりきって全身で表現したり、言葉のやりとりを楽しんだり、いつもとは違う雰囲気にならびドキドキするなど、いろいろな子どもの姿が見られました。子どもたちは、おたのしみ会～ミニ発表会～を通して大好きな仲間とともに、イメージを広げながら、豊かな表現力や共同的な姿の芽生え、やりたいことや伝えたいことなど自己決定、自己判断するなど、たくさんの育ちを感じることができ、嬉しく思っています。これも保護者のみなさまが家庭の中で愛情いっぱいの子育てをしてくださっているからこそだと思っております。

子どもたちは、小さいころから、身近な大人にしっかりと自分の思いや欲求を受け止めてもらい、時には、不安やつらさといった葛藤も経験しながら、少しずつ自分を発揮できるようになっていきます。そして、4.5歳児にもなると、あそびの中で、自分で考えたことを相手に伝えたり、試したり、うまくいかないことも経験する中で、「もっと、こんなふうにしてみたい」と思考力も芽生えていくのです。あそびの中で子どもたちが主体的に行動する姿こそ、成長していくうえで必要な、学ぶ意欲や生きる力へとつながっていきます。

12月5日(土)は4.5歳児の生活発表会を予定しています。4.5歳児にもなると仲間との話し合いでストーリーを考え、配役を相談し合ったり、ダンスのアイデアを出し合いながら、試行錯誤する姿が見られます。みんなで1つの目的に向かい、自分の考えを伝えたり、意見を聞いたり、相手と折り合いをつけるなど仲間とあそびの中で育ち合っている子どもたちの共同的な姿や主体的な姿を様々な行事等を通じて、保護者の方とともに喜び、あそびの中で日々学んでいる姿に成長を感じていただければと思います。

3歳児おたのしみ会で理事長も申しましたが、子どもたちは「あそびの名人」です。「あそびの名人」たちが安心して、楽しく豊かな園生活が送れるよう、今できることを考え、園全体で子どもたちの育ちを見守っていきたく思います。最後にはなりますが、保護者のみなさまには引き続き、感染症対策にご理解・ご協力をお願いするとともに、みんなでコロナに負けないようがんばりましょう。

第二みみょう保育園 主任

お家の方といっしょに ほっこり にっこり 素敵な姿



子育て応援メッセージ



子どもがいる社会は すばらしい

子どもが社会にいるのは、大人にとって、すごくいいことです。子どもの笑顔は大人を幸せにします。子どもと一緒に「うれしい」「良い時間を過ごせた」という満足を味わうと、この子たちがこれから生きる世界をよりよくしたいと思う気持ちが自然と強くなるものです。

日経BP社 中川李枝子著 「ママ、もっと自信をもって」 より